

丸文
2025 年 3 月期第 2 四半期（中間期） 決算説明会
質疑応答（サマリー）

日時：2025 年 11 月 7 日（木）10:00 – 10:35

場所：丸文本社よりライブ配信

説明者：代表取締役社長 飯野 亨

Q：今期は中期経営計画最終年度となるが、目標達成について自信のほどを聞かせてほしい。経営目標達成の確度はどれぐらいかお聞かせください。

A：足下の事業環境は、産業機器市場の停滞などの影響で、デバイス事業を中心に需要が下がっており、前年対比では減収を見込んでおります。しかし計画対比では伸長しており、中計目標の売上高 2,100 億円は達成できる見通しです。また、経常利益 60 億円、ROE 8%についても達成を見込んでおり、受注済み案件の納期フォローと、さらなる新規案件の積み上げにより達成確度を高めたいと考えております。

Q：産業機器を中心とする在庫調整完了と回復タイミング入りは、各社によって 2025 年初から同年末まで見方が分かれています。御社の場合はどうでしょうか。

A：半導体製造装置を中心に日本は産業機器が強く、当社としても主要なお客様であります。見方としては、ご質問の通り 2025 年前半から回復を見込むお客様が半数、2025 年後半から回復を見込むお客様が半数と想定しておりました。しかし今年の夏頃より回復時期が後ろ倒しになっている認識を持っており、現時点では大方が 2025 年後半でも回復は厳しいと見通しております。お客様によっては、2025 年は厳しく、2026 年にようやく回復の兆しという見立てもございます。

Q：上期の営業利益上振れは 16 億円弱だが、通期の上方修正は 4 億円強に留まります。この差はどこにありますか。

A：我々の想定よりも産業機器市場が厳しい状況にあることが主な要因であります。

Q：今後の業界再編につきましてお考えはありますでしょうか。

A：同業他社様の状況も変わってきていると感じております。当社が行っている事業との親和性を慎重に勘案しながら検討していきたいと考えております。